

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日: 2021年 3 月 29 日

テーマ名	「IT利活用と社会制度」 ～AI・ロボット・ブロックチェーンなどの 最新技術と社会制度上の課題～	
届出組織等名称	ITコーディネータ千葉ネットワーク	
成果物公開URL	https://itc-chiba.net/	
当活動代表者 及び担当者連絡先	(代表者氏名) 白井貴子 電話番号: 09087704032 e-mail: qyy04670@nifty.com	(担当者氏名) 電話番号: e-mail:
研究・調査 成果概要	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020/7月キックオフ、各自テーマ出し ・2020/7～9月 各自調査、その間メール、チャット、WEB会議にてディスカッション ・2020/9、10月 各自ドキュメント作成 ・2020/11月 認識あわせのために、WEBセッションの実施 ・2020/11月 ITC千葉セミナーにて中間発表を実施 ・2021/1月 各自ドキュメント作成、完成 ・2020/2月 ITC千葉セミナーにて成果報告を実施 ・2021/3月 有識者(大学院教授)によるドキュメントレビュー、WEBセッションの実施 ・2020/3月 発表資料作成、報告 <p>【研究サマリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本報告書では、最初に共通テーマとして「IT利活用と法律等の社会制度」と題して、各自最新技術の発展に追随する法規制などの状況を調査していたが、最新技術である「AI・ロボット」の調査を進めるに従い、法規制の前に、その前提として、AIとはどのような物で、どのような形で社会に影響を与え、課題に応じていく可能性があるかを調査研究のテーマとする事とした。 ・1つ目のテーマとして、これまでどのようにしてAIが研究・開発されてきたかといったAIの成り立ち、AIが出した結果に対する信頼性やそれに関する社会的課題をまとめている。次に、2つ目のテーマとして、AIやロボットが社会に広く普及するようになると、労働や社会保障にどのような影響を与えるかについてまとめた。 ・最後に、最新技術の具体的な利用事例として、ブロックチェーン/スマートコントラクトの事例や法規制などについてまとめている。 ・AIやロボットは技術的にも社会的にも発展の途上にあり、中小企業であっても、リスクにもビジネスチャンスにもなりうる状況である。引き続き動向を注力していく必要がある。 	
成果物	・テーマ研究報告書 2020テーマ研究報告書2021.3.29版	

* 青字は事務局で記入します。

事務局受付日

2021/3/29

案件番号

S20002